

《花木園》

春のツツジ、レンギョウ、ヤマブキ、ユキヤナギ、初夏から夏のコデマリ、シモツケ、ノリウツギ、アジサイ、ホザキシモツケ、タニウツギ、秋のハギ、ムクゲなど、なじみのある低木性花木類を植栽したエリアです。季節感を楽しめる低木・花木類には次表のような管理を行います。

花木園低木類の主な管理作業計画		
林床	適宜	刈り草や落ち葉は、土壤改良有機質還元のため集めない
樹形管理	1～2月他適期	剪定整枝による樹形形成
	4月上旬	冬囲いを外した後、枝を広げて癖をなおす
	花期	凋花摘み
	花後	剪定、枝透かしを行う
	8月中旬	刈込み
雪囲い	レンゲツツジ、ヤマツツジ、エゾムラサキツツジ	積雪地帯自生のツツジは冬囲いを行わない
	上記以外の低木類	縄巻き（枝折れ、枝割れなどの雪害回避を図る）

《フジ》

サンクガーデンの両翼には、全長320mの壮大なフジ棚があります。これまでの管理を通して蓄積してきたノウハウを生かし、適切にフジの育成管理を行います。フジの管理の主な作業は次表のとおりです。

フジの主な管理作業計画		
植床	適宜	土壤堅密化には、木材チップマルチング
樹形管理	生長期	垂れ下がったつるは適宜つめる
	休眠期	当年枝の4～5の花芽を残して剪定、罹病枝切除
根（ツル）切り	6～7月	周囲への根の広がりを抑制し、他の樹木への巻き付きを防ぐ

③ 花修景管理

前田森林公園では、既設の花壇のほかに、管理事務所周辺に花壇の増設やプランターを設置し、季節の花々を楽しめる景観の創出に努めています。次期指定管理期間においても、宿根草や低灌木類、球根類や多年草等も利用し、花を通じて四季の映り変わりを感じられる修景管理を行います。

花壇の主な管理作業計画		
植床	堆肥施用及び耕うん、元肥	元肥として植物リサイクルした堆肥使用
定植	花壇定植	適期（5・6月上旬）
	セカリー広場花壇	グラニウム、ホスタ、ネペタなどの日陰に強い宿根草
	管理事務所前プランター	チューリップ、マリーゴールド等とアジサイ・ライラック
	サンクガーデン噴水	チューリップ、マリーゴールド、サルビアの一年草など
	展望ラウンジ裏花壇	コスモス・ヒマワリ等の一年草類とチューリップ等の球根類
掘り取り	茎葉を残さない	適期（成長度合いによって6・10月程度）

④ 植物リサイクル

公園で発生した剪定枝等はチップパーで粉碎してマルチング材として、また、落ち葉などは堆肥化して土壌改良剤や肥料として使用しています。

また、一部は燃料（薪）用として保管し、市民の譲渡希望の声に応えた薪材配布事業を継続して実施します。

そのほか、粉碎したチップ材や剪定枝は、前田森林公園に様々な昆虫が生息できる環境を整えるためにも活用します。

星置公園の植物管理の基本的な考え

星置公園は、旧手稲鉱山の鉱さい堆積場の跡地に造成された公園です。現在では、星置東小学校前のポプラ並木も大きな緑陰をつくるようになりましたが、一方で綿毛被害など周辺住民からの伐採要望があったため、ポプラの剪定・伐採を札幌市へ提言しました。

今後とも長期的な展望に立ち、将来の公園の緑を想定し、近隣住民のニーズも踏まえて次のとおり管理を行います。

① 芝生管理

貴重なオープンスペースであり、スポーツやレジャーなど多目的に利用される広場の芝生は、次表のような管理を行います。

星置公園芝生の主な管理作業		
草刈	回数	6回/年 (法面は2回/年)
	刈高(目安)	6cm
	主要機械	乗用ロータリーモア
	補助機械	自走ロータリーモア (乗用ロータリーモアでは安全に作業ができない箇所) 刈払い機 (樹木廻り)
施肥	窒素量	2.7g/m ² 程度・年：5月(スポーツターフ)

② 樹林管理

《ポプラ》

大きく成長したポプラは、危険回避のため、次表のとおり管理を行います。

ポプラの主な管理作業計画		
施肥	11月下旬	衰弱の見られる樹木には剪定枝堆肥でマルチング
樹形管理	適宜	枯れ枝切除、枯損木伐採

《サクラ》

星置公園は近隣の方たちにサクラの名所として親しまれています。エソヤマザクラ、ヤエザクラ、ソメイヨシノ等の健全な生育のために次表のとおり管理を行います。

サクラの主な管理作業計画		
根回り	適宜	剪定枝堆肥と木材チップでマルチング(土壌の団粒化を図る)
樹形管理	適宜	枯れ枝切除、枯損木伐採
防除	オビカレハガ	捕殺
	胴枯病	適宜罹病部切除
	天狗巣病	罹病部切除、樹木全体に病状がある場合は、回復が極めて困難なため伐採
	コブ病	採
	根頭癌腫病	著しい被害の場合は、客土または伐採
除間伐	適宜	生育不良木、樹間適正化

＜高木広葉樹＞

イタヤカエデ、ヤマモミジ、シラカンバ、ナナカマド、トチノキ、ドロノキ、ミズナラ、コナラ、ハルニシ等の広葉樹は、次表のような管理を行います。

高木性落葉樹の主な管理作業計画		
根回り	4月下旬	土壌堅密化には、木材チップでマルチング（土壌の団粒化を図る）
樹形管理	8月	込み合った枝の枝透かし
	1～2月	公園樹にふさわしい樹形整形、衰弱枝切除
	適宜	枯れ枝切除、枯損木伐採

＜高木針葉樹＞

園内にはクロマツ、ブンゲンストウヒ、ストロブマツ、ヨーロッパクロマツ、ヨーロッパアカマツ等の針葉樹が植栽されていますが、根が浅く、風倒被害を受けるおそれがあるため、樹形を維持しつつ適度な枝透かしを行います。

高木性針葉樹の主な管理作業計画		
根回り	4月下旬	木材チップでマルチング
樹形管理	1～2月	枝透かし、衰弱枝切除

＜低木類＞

ライラック、ハマナス、ドウダンツツジ、リュウキュウツツジ、レンギョウ、ニシキギ等の低木類は、次表のような管理を行います。

低木性花木の主な管理作業計画		
除草	6月、8月	手除草など
樹形管理	4月上旬	冬囲いを外した後、枝を広げて癖をなおす
	花後	刈込み剪定、枝透かしを行う
雪囲い	3点荒縄巻き。枝折れ、枝割れなどの雪害回避を図る	
台木処理	ライラックについては台木が芽吹いてきたら切り詰め	

③ 花壇管理

星置公園の花壇では次のような管理を行います。

花壇の主な管理作業計画		
植床	堆肥施用及び耕耘、元肥	元肥として植物リサイクルした堆肥使用
定植	花壇定植	適期（5・6月上旬）
	パーゴラ広場柵花壇 12箇所	チューリップ、レモンバームなどの多年草、マリーゴールド、サルビアなどの一年草
	健康遊具広場花壇	
掘り取り	茎葉を残さない	適期（成長度合いによって6・10月頃）

明日風公園の植物管理の基本的な考え

造成して間もない公園のため、樹木の活着促進に重点を置き、植物を管理します。

① 芝生の管理

芝生の管理は次表のとおり行います。

明日風公園芝生の主な管理作業		
草刈	回数	6回/年
	刈高（目安）	6cm
	主要機械	乗用ロータリーモア
	補助機械	自走ロータリーモア（乗用ロータリーモアでは安全に作業のできない箇所） 刈払い機（樹木周り）

明日風公園パークゴルフ芝生の主な管理作業				
草刈	フェアウェイ	回数	1回/週（25回/年程度）雨水貯留地のため状況により減	乗用リールモア
		刈高	4月～6月、9～10月：3cm 7月～8月：4cm	
	ラフ	回数	1回/週（25回/年程度）	乗用ロータリーモア
		刈高	4月～6月、9～10月：5cm 7月～8月：6cm	自走ロータリーモア 刈払い機
施肥	窒素	2.7g/m ² 程度・年：芝生生育状況により増減 （雨水貯留池部分のコースは、東濁川への窒素・リン酸などの流入が生物に与える影響に配慮し、施肥を行わない）		
エアレーション、目土散布		適宜		
芝生補修		張替え等適宜実施		

② 樹木の管理

新しく植栽された樹木の定着に重点を置き、次表のように管理します。

低木、高木の主な管理作業計画		
根回り	4月下旬	土壌堅密化には、木材チップでマルチング
灌水	5月～7月	適宜
施肥	11月下旬	衰弱の見られる樹木には、剪定枝堆肥マルチング
高木樹形管理	適宜	枯れ枝切除、枯損木伐採
支柱管理	適宜	結束のゆるみ補正、不要支柱の撤去
補植	適宜	停滞水に強い樹種選定
低木樹形管理	4月	冬囲いを外した後、枝を広げて瘻をなおす
雪囲い	3点荒縄巻き。枝折れ、枝割れなどの雪害回避を図る	

③ 花壇の管理

花壇では次表のような管理を行います。管理作業は市民参加で実施し、円滑な活動を行えるよう支援します。

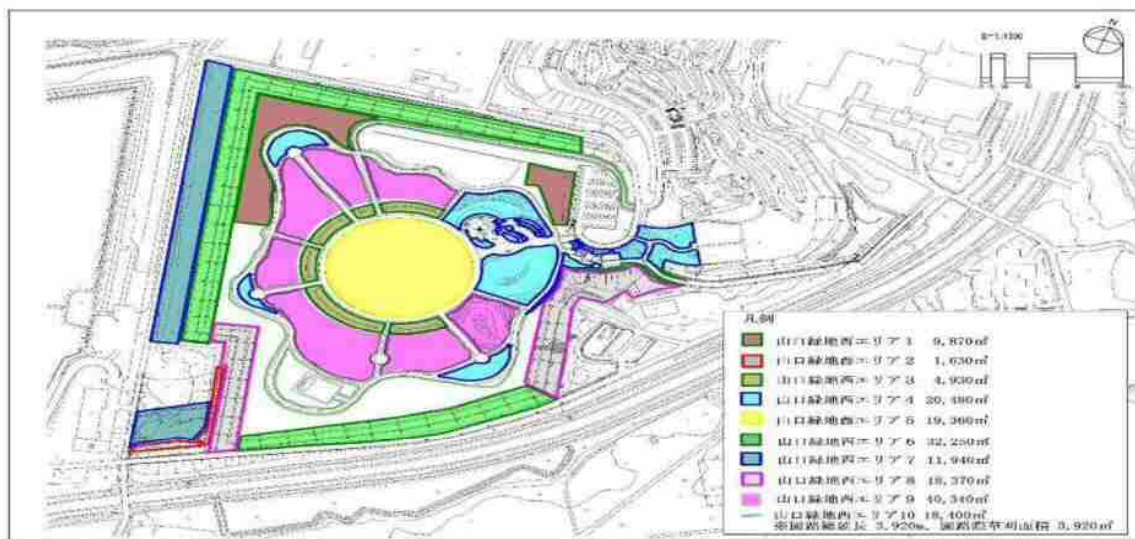
花壇の主な管理作業計画		
植床	堆肥施用及び耕耘、元肥	元肥として化成肥料・植物リサイクルした堆肥使用
定植	花壇定植	適期（5・6月上旬）
	アプローチ花壇	チューリップ、パンジーなど
追肥	化成肥料	適宜
掘り取り	茎葉を残さない	適期（成長度合いによって6・10月頃）

山口緑地における植物の育成管理

山口緑地パークゴルフ場西コースは造成から19年、東コースは8年が経過しましたが、樹木が十分に定着していないため、マルチングなど樹木の生育環境の改善に取り組みます。また、山口緑地では「さっぽろふるさとの森づくり」に関する協定が締結され、それぞれ管理作業をしていることから、その活動への協力と支援を今後も引き続き行います。

① 芝生・草地の管理

芝生や草地の管理においては、前田森林公園と同様に利用目的や樹林帯の植生、機能に応じた区域毎に、刈込実施回数や刈高等の基準を設け、効率的で質の高い管理を行います。



<<パークゴルフ場>>

山口緑地パークゴルフ場西コースの主な管理作業計画			
草刈	フェアウェイ	回数	1回/週(26回/シーズン)
		刈高	4月~6月、9~10月:3cm 7月~8月:4cm (フェアウェイ集草)
	セミラフ	回数	1回/週(26回/シーズン)
		刈高	4月~6月、9~10月:6cm 7月~8月:7cm
ラフ	8回/年		
コース外	3~5回/年		
施肥	窒素量	6・4・4g/m ² 程度・年:全3回施肥(芝生生育状況により増減)	
灌水	適宜		
エアレーション、目土	適宜		
芝生補修	張替え等適宜実施		
芝生種子オーバーシード	芝生更新時適宜作業(バーチカル同時)		
防除	病虫害発生初期に薬剤散布		
高木管理	根回り	適宜木材チップでマルチング	
	支柱	適宜結束ゆるみの締め直し	
	幹の保護	適宜プロテクター設置	
	施肥	適宜剪定枝堆肥マルチング	
低木管理	植床	適宜剪定枝チップでマルチング	
	除草	2回/年程度手除草	
	剪定	花後 刈込み剪定、枝透かし	
	雪囲い	降雪前 荒縄巻き上げ。枝折れ、枝割れなどの雪害回避を図る	

東コースは日本パークゴルフ協会公認コースのため、他よりも比重を置いた管理とします。

山口緑地パークゴルフ場東コースの主な管理作業計画				
草刈	フェアウェイ	回数	1回/週(25回/シーズン)	乗用リールモア
		刈高	4月～6月、9～10月：3cm 7月～8月：4cm (フェアウェイ集草)	
	ラフ	回数	1回/週(25回/シーズン)	乗用ロータリーモア 自走ロータリーモア 刈払い機
		刈高	4月～6月、9～10月：6cm 7月～8月：7cm	
施肥	窒素量	20g/m ² ・年程度：5月上旬6g、6月中旬4g、9月上旬4g、10月上旬6g(時期は目安)		
灌水		適宜		
エアレーション、目土		適宜		
芝生補修		張替え等適宜実施		
芝生種子オーバーシード		芝生更新時適宜作業(パチカル同時)		
防除		病害虫発生初期に薬剤散布		
高木管理	根回り	適宜木材チップでマルチング		
	支柱	適宜結束ゆるみの締め直し		
	幹の保護	適宜プロテクター設置		
	施肥	適宜剪定枝堆肥マルチング		
低木管理	植床	適宜剪定枝チップでマルチング		
	除草	2回/年程度手除草		
	剪定	花後 刈込み剪定、枝透かし		
	雪囲い	降雪前 荒縄巻き上げ。枝折れ、枝割れなどの雪害回避を図る		

<<西エリア>>

草地 1 の主な管理作業計画		
草刈	回数	1回/年
	刈高(目安)	5～10cm程度
	主要機械	乗用ロータリーモア、自走ロータリーモア
	補助機械	刈払い機・人力(樹木周り等)、ハンマーナイフモア

草地 2 の主な管理作業計画		
草刈	回数	2回/年
	刈高(目安)	5～10cm程度
	主要機械	乗用ロータリーモア、自走ロータリーモア
	補助機械	刈払い機・人力(樹木周り等)、ハンマーナイフモア

草地 3 の主な管理作業計画		
草刈	回数	3回/年
	刈高(目安)	5cm
	主要機械	乗用ロータリーモア、自走ロータリーモア
	補助機械	刈払い機・人力(樹木周り等)、ハンマーナイフモア

芝生 4 の主な管理作業計画		
草刈	回数	3回/年
	刈高(目安)	5cm
	主要機械	乗用ロータリーモア、自走ロータリーモア
	補助機械	刈払い機・人力(樹木周り等)、ハンマーナイフモア

芝生 5 の主な管理作業計画		
草刈	回数	4 回/年（芝生生育状況による）
	刈高（目安）	5cm
	主要機械	乗用ロータリーモア、自走ロータリーモア
	補助機械	刈払い機・人力（樹木周り等）、ハンマーナイフモア

草地 6 の主な管理作業計画		
草刈	回数	1 回/年
	刈高（目安）	5cm～10cm 程度
	主要機械	乗用ロータリーモア、自走ロータリーモア
	補助機械	刈払い機・人力（樹木周り等）、ハンマーナイフモア

芝生 7 の主な管理作業計画		
草刈	回数	2 回/年
	刈高（目安）	5cm 程度
	主要機械	乗用ロータリーモア、自走ロータリーモア
	補助機械	刈払い機・人力（樹木周り等）、ハンマーナイフモア

草地 10 の主な管理作業計画		
草刈	回数	2 回/年
	刈高（目安）	5cm～10cm 程度
	主要機械	乗用ロータリーモア、自走ロータリーモア
	補助機械	刈払い機・人力（樹木周り等）、ハンマーナイフモア

② 樹林の管理

山口緑地の樹木の管理については、植栽樹木の良い定着のため、根張を重視した管理を行います。

低木、高木の主な管理作業計画		
根回り	4 月下旬	土壌堅密化には、木材チップでマルチング
灌水	5 月～7 月	適時
施肥	11 月下旬	衰弱の見られる樹木には、剪定枝堆肥マルチング（植樹区域除く）
高木樹形管理	適宜	枯れ枝切除、枯損木伐採（植樹区域除く）
支柱管理	適宜	結束のゆるみ補正、不要支柱の撤去（植樹区域除く）
補植	適宜	停滞水や干害、強風に強い樹種選定（植樹区域除く）
低木樹形管理	4 月	冬囲いを外した後、枝を広げて癖をなおす
雪囲い	11 月	3 点荒縄巻き。枝折れ、枝割れなどの雪害回避を図る

当公園における雑草対策

当公園内の降水は新川水系を経て石狩湾に流出します。そのため、安全・安心を重視して、環境への影響を最小限に抑えるという観点から、除草剤を使用せず、栽培植物（芝生、樹木、花壇植物等）の雑草に負けない健全な育成に努め、次のような対策で雑草を抑える工夫をします。

芝生の雑草対策			
雑草処置	セイヨウタンポポ、ブタナ、シロツメクサ	刈込により種子を飛散させないようコントロール	除草剤は使用しない
	オーチャードグラス	強い刈込または人力で伐根除草	
	樹木の根際	人力で伐根除草、刈取	マルチングにより発芽を抑える